

ID ^{注1)}	251108	公開 ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙・電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	-------------------	---	---------------------	------	---------------------	--	------	--

報告書名称 / 調査名称	令和6年度 白神山地ニホンシカ越冬地調査				発行年月/報告年月																
					2025年	3月															
					資料形式 ^{注2)}		報告書														
調査機関	東北地方環境事務所			委託機関	株式会社 グリーンシグマ																
調査開始年	2025年	2月	調査期間	2025年	2月	～	2025年	2月													
調査頻度 ^{注2)}	不定期			調査時期 ^{注2)}	冬																
モニタリング計画	2022年7月	策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(3)													
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法																	
☐ 核心地域 ☐ 緩衝地域 ☒ 周辺地域 ☒ GPS等の位置データあり				<p>◆目的 シカ対策の基礎情報としてシカの越冬地を把握するため、積雪期におけるシカの足跡・食痕等の痕跡調査を実施する。</p> <p>◆調査方法 ・シカ越冬地の選定 ・現地調査（越冬地調査、シカの糞及び摂食植物採取等）</p> <p>◆調査期間 令和7年2月12日～令和7年2月22日 計10日</p> <p>◆調査地点 青森県 深浦町・鯉ヶ沢町・西目屋村 10地点（1地点に対して2～9の複数ルートを設定）</p> <p>《これまでに実施した調査項目及び調査方法》 ・ライトセンサス（2016～2018年） ・ボイストラップ調査（2018年～） ・越冬適地解析（2019年） ・ルートセンサス調査（2020年～） ・スポットセンサス調査（2020～2021年） ・広域食痕調査（2022年～）</p>																	
<p>■越冬地調査の結果 今回の調査では、10地点のうち地点1と地点6～10の6地点でシカの痕跡が確認された。地点2～4では、シカもしくはカモシカの痕跡が確認されたものの、痕跡は僅かでシカと判断できるものはなかった。</p> <p>■シカの越冬地の利用状況 表1の基準で分類した。越冬地については、冬季の間そこに長期滞在するのではなく、積雪や餌の量によって一定期間で移動していることが予想される。このため顕著な食痕がみられ、足跡や雪上の糞など最近の生息痕跡が確認された場所を、「①調査時に越冬地として利用している地点」とした。顕著な食痕がみられたが、足跡・糞など最近の痕跡が確認されなかった地点を、「②調査以前に越冬地として利用されていた地点」、食痕は見られたが、食害の程度が軽微な地点を、「③冬季に一時的な利用がある地点」とした。</p>																					
				<p>表1 シカ越冬地の分類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>説明</th> <th>本調査での調査ルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①調査時に越冬地として利用している地点</td> <td>顕著な食痕がみられ、足跡・糞など最近の生息痕跡が確認された地点</td> <td>1-2(深浦町大間越上小屋野) 1-3(深浦町大間越上小屋野) 6-5(深浦町風合瀬大磯上晴山) 6-8(深浦町田野沢(大戸瀬)) 8-3(鯉ヶ沢町舞戸町三ツ沢) 10-3(西目屋村市)</td> </tr> <tr> <td>②調査以前に越冬地として利用されていた地点</td> <td>顕著な食痕がみられたが、足跡・糞など最近の痕跡が確認されなかった地点</td> <td>7-1(深浦町大字関字小島崎) 8-1(鯉ヶ沢町姥袋町地割) 8-2(鯉ヶ沢町舞戸町西阿部野)</td> </tr> <tr> <td>③冬季に一時的な利用がある地点</td> <td>食痕は見られたが、食害の程度が軽微な地点</td> <td>6-1(深浦町大字轟木字津山) 6-2(深浦町轟木扇田) 6-3(深浦町轟木三浦) 6-6(深浦町風合瀬大磯上晴山) 6-9(深浦町北金ヶ沢榎原上野) 9-4(鯉ヶ沢町大字深谷町字黒森) 10-1(西目屋村大字白沢字山内) 10-2(西目屋村大秋)</td> </tr> </tbody> </table>						分類	説明	本調査での調査ルート	①調査時に越冬地として利用している地点	顕著な食痕がみられ、足跡・糞など最近の生息痕跡が確認された地点	1-2(深浦町大間越上小屋野) 1-3(深浦町大間越上小屋野) 6-5(深浦町風合瀬大磯上晴山) 6-8(深浦町田野沢(大戸瀬)) 8-3(鯉ヶ沢町舞戸町三ツ沢) 10-3(西目屋村市)	②調査以前に越冬地として利用されていた地点	顕著な食痕がみられたが、足跡・糞など最近の痕跡が確認されなかった地点	7-1(深浦町大字関字小島崎) 8-1(鯉ヶ沢町姥袋町地割) 8-2(鯉ヶ沢町舞戸町西阿部野)	③冬季に一時的な利用がある地点	食痕は見られたが、食害の程度が軽微な地点	6-1(深浦町大字轟木字津山) 6-2(深浦町轟木扇田) 6-3(深浦町轟木三浦) 6-6(深浦町風合瀬大磯上晴山) 6-9(深浦町北金ヶ沢榎原上野) 9-4(鯉ヶ沢町大字深谷町字黒森) 10-1(西目屋村大字白沢字山内) 10-2(西目屋村大秋)
分類	説明	本調査での調査ルート																			
①調査時に越冬地として利用している地点	顕著な食痕がみられ、足跡・糞など最近の生息痕跡が確認された地点	1-2(深浦町大間越上小屋野) 1-3(深浦町大間越上小屋野) 6-5(深浦町風合瀬大磯上晴山) 6-8(深浦町田野沢(大戸瀬)) 8-3(鯉ヶ沢町舞戸町三ツ沢) 10-3(西目屋村市)																			
②調査以前に越冬地として利用されていた地点	顕著な食痕がみられたが、足跡・糞など最近の痕跡が確認されなかった地点	7-1(深浦町大字関字小島崎) 8-1(鯉ヶ沢町姥袋町地割) 8-2(鯉ヶ沢町舞戸町西阿部野)																			
③冬季に一時的な利用がある地点	食痕は見られたが、食害の程度が軽微な地点	6-1(深浦町大字轟木字津山) 6-2(深浦町轟木扇田) 6-3(深浦町轟木三浦) 6-6(深浦町風合瀬大磯上晴山) 6-9(深浦町北金ヶ沢榎原上野) 9-4(鯉ヶ沢町大字深谷町字黒森) 10-1(西目屋村大字白沢字山内) 10-2(西目屋村大秋)																			
kr	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ≪原本（データ）の帰属について≫																				

備 考

■越冬地の環境特性

今回確認された越冬地について、地域ごとの概要を表2に示した。

植生をみると痕跡はスギ林を中心とした箇所に見られ、採餌などで林縁や周辺の落葉広葉樹林を利用している。スギ林内は積雪量が少なく、雪も締まっており、広葉樹林に比べ移動しやすい。ただ、沿岸地域の深浦町北金ヶ沢から鰯ヶ沢町のスギ林内では、林内が暗く林床に嗜好性植物が極めて少ない場所が多くみられた。

地形的にみると尾根と谷地形に分かれるが、深浦町の地点では、なだらかに西向きに尾根が伸びる傾向があるため、西向きの尾根斜面に越冬地があった。海に面し、西風が強く西斜面に積雪が少ないことも関係していると考えられる。北金ヶ沢から鰯ヶ沢町では北に尾根がのび、北側や東斜面に越冬地がみられた。西目屋村の地点は、積雪量が多く、谷地形など沢沿いにのみ調査地を設定したが、いずれの地点でもシカが確認され、村市の地点10-3は食痕も多く、越冬地として利用されていることが示された。

表2 越冬地の環境特性

地域	植生	地形	地域の特徴
沿岸地域 (大間越～岩崎)	スギ林、フジやキツタが生育	なだらかな西向き尾根谷地形	林床の植物少ない。地形が急な尾根が多い。
沿岸地域 (沢辺～追良瀬)	—	—	積雪量が少ない。
沿岸地域 (轟木～田野沢)	スギ林、ヒメアオキかササ類が生育	なだらかな西向き尾根	林床に嗜好性植物が多い。まとまったスギ林が少ない。
沿岸地域 (北金ヶ沢～舞戸)	スギ林、ヒメアオキ、ササ類、フジが生育	北向き尾根	林床に嗜好性植物が少ない。アクセスのよいスギ林が少ない。沿岸から離れると積雪深が急に多くなる。
内陸地域 (鰯ヶ沢～西目屋)	スギ林、フジやササ類が生育	谷地形	沢地形でアクセスのよい場所が限られる。

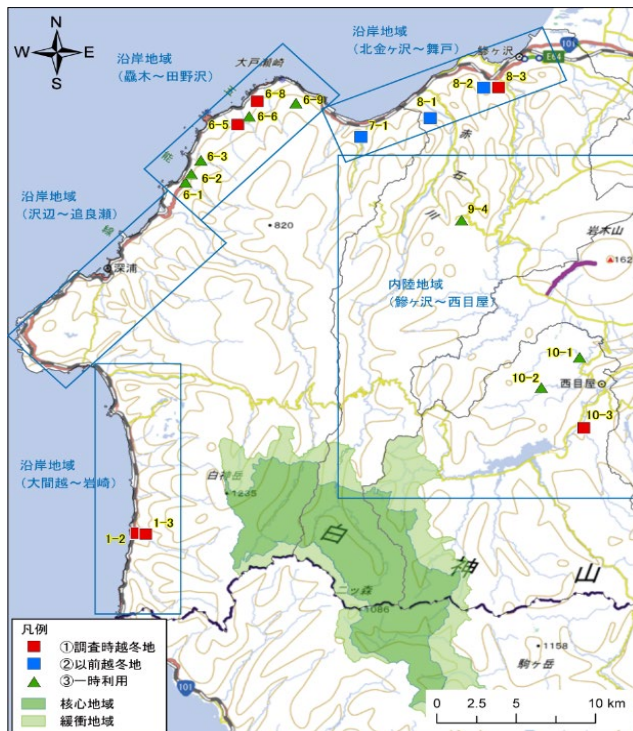


図1 本調査におけるシカの越冬地位置図

図2 現在利用されている越冬地の状況
(地点1-2と地点1-3)

写真1 糞 地点1-2 (シカ反応あり)



写真2 食痕 (ササ類) 地点1-2 (シカ反応あり)